

「白山手取川ジオパーク 子どもジオ博士」の企画・運営

団体名 ● こどもフィールド演習（森永ゼミナール）

代表者名 ● 森永秀典（人間科学部こども学科・准教授）

はじめに(背景・目的・目標)

白山市ジオパーク・エコパーク推進課職員のサポートのもと、金沢星稷大学こども学科森永ゼミナール3年生が企画・運営する「白山手取川ジオパーク 子どもジオ博士」は、白山から手取川、日本海へと至る「水の旅・石の旅」をテーマに、火山や化石、峡谷、扇状地など大地の成り立ちについて、楽しみながら学ぶ小学生向けの活動である。本活動は、2025年8月9日(土)に、小学4年生から6年生までの5名を対象に実施した。

活動内容

活動の準備として、4月に大学内で打ち合わせを行い、各学生が白山手取川ジオパークについての理解を深めた。また、5月には下見も行い、本活動の行程を計画した。本活動は、以下の流れで実施した。

まず、「道の駅 しらやまさん」に集合し、活動全体の説明と、子どもたちの緊張をほぐすためのアイスブレイクを行った。今回の活動では、子どもたちがミッションカードに示された課題を一つずつクリアしていくことを通して、白山手取川ジオパークへの理解を深めることを目指した。



写真1 出発式（道の駅 しらやまさん）

百万貫の岩では、「百万貫の岩を持ち上げている写真を撮ろう！」というミッションに取り組み、岩の大きさや重さを実感した。続いて白山砂防科学館では、動画を視聴することで、百万貫の岩が現在の場所に流れ着いた経緯について理解を深めた。



写真2 百万貫の岩に向かう

恐竜パーク白峰では、桑島化石壁で発見された化石をはじめ、恐竜などさまざまな化石の展示を観察した。さらに、施設職員の協力のもと化石発掘体験を行い、化石化した貝や植物、亀の甲羅などを実際に発掘した。これらの体験を通して、長い時間をかけて大地が形成されてきたことを学ぶことができた。

後半は、手取川ダムや手取峡谷、綿ヶ滝の景色を見渡し、水の流れや水の力について考えた。また、七ヶ用水では、水を利用してきた人々の知恵や努力についても考察した。

最後に、「子どもジオパーク博士」の認定式を行い、活動全体の振り返りを行った。

成果、結果の考察

以上の活動を通して、本活動のテーマである白山手取川ジオパークの「水の旅・石の旅」について、子どもたちおよび学生の双方が理解を深めることができた。また、白山市の職員の方による丁寧なサポートのもと、活動を円滑に進めることができた点も、本活動の成果の一つであると考えられる。

今後の課題・展望

次年度以降も、今回の活動内容や進行方法を振り返り、改善点を精査しながら、より充実した学びのある活動へと発展させていく予定である。